

【総合戦略Ⅲ-(1)-① 結婚、出産から子育てまで切れ目のない支援の充実】

重点プロジェクト 1	少子化対策・子育て支援	R7.2 企画振興課外
---------------	-------------	----------------

結婚から出産、子育てまで切れ目のない支援に取り組み、地域と連携して出会い・結婚・子育てを地域でサポートする環境を構築し、総合的な少子化対策を推進します。

	推移									目標
	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R10
出生数(人)	256	268	233	239	234	200	203	198	182	170

※目標R10は、第3期総合戦略の目標値

7年度の ポイント	出会い・結婚支援、出産・子育て支援、女性・若い世代の定住・就労支援、子育て環境の充実。
--------------	---

① 結婚相談所運営事業

【継続】 【予算額 8,076千円】

えがお出会いサポートセンター「駒ヶ根市結婚相談所」において、結婚相談員による相談事業、出会い支援事業を積極的に実施して、総合的な結婚支援を継続的に行う。加えて成婚した登録者の結婚生活におけるサポートを行う。

② えがお出会いサポート事業

【継続】 【予算額 1,075千円】

出会い支援イベントや、スキルアップセミナーを開催するとともに、結婚相談・お見合い対応等の支援事業を合わせた継続的な結婚支援を行う。また、広域連携による結婚支援や、移住婚希望者の受入れを行い、より効果的な出会いの機会の創出を図る。

○実績 (R6は12月末現在)

		R2	R3	R4	R5	R6
相談所登録者数	男性	92 人	99 人	113 人	119 人	122 人
	女性	55 人	60 人	86 人	87 人	90 人
相談件数		2,470 件	2,840 件	2,878 件	3,010 件	2,554 件
出会いイベント等	回数	21 回	16 回	30 回	21 回	12 回
	延べ参加者数	178 人	113 人	177 人	214 人	164 人
見合い件数		118 回	87 回	110 回	96 回	81 回
成婚数		11 組	10 組	10 組	14 組	4 組

③ 地域定着奨学生支援事業

【拡充】 【予算額 2,400千円】

駒ヶ根市へのふるさと回帰を促進することにより人口の増加を図ることを目的に、駒ヶ根市への移住・定住を促進し、若者の地域定着を促すため、奨学金の返済義務を抱えながら働く若者の負担軽減を図る。

○実績

	R2	R3	R4	R5	R6
補助件数	4 件	7 件	15 件	15 件	14 件

④ こまがね de 新婚生活スタート応援事業

【継続】 【予算額 6,500千円】

新婚生活をスタートさせるために必要な住居確保に係る経費を支援することで結婚を後押しし少子化対策に繋げていく。

- ・39歳以下で、前年度の世帯の所得が500万円以下の世帯対象
夫婦共に29歳以下 上限60万円+10万円（生活家電）
上記以外 上限30万円+5万円（生活家電）

○実績 (R6は12月末現在)

	R5	R6
申請件数	14 件	10 件

※今後の申請見込 5件

⑤ 妊婦さん・産後ママ応援タクシー券事業 **継続** 【予算額 682千円】

出産前後の母親が検診や買い物などで外出したい時や、緊急時に家族等の支援が得られない場合のセーフティネットとして、また、都市部から移住された女性の不安軽減を目的に、出産前後の母親が利用できるタクシー券（500円）をエリアごとの枚数で交付する。

・竜西地区：24枚 ・竜東地区1：48枚 ・竜東地区2：72枚

○実績（R6は12月末現在）

	R5	R6
交付者数	96 人	53 人
実利用者数	69 人	

⑥ 赤ちゃん育児ライフ応援事業 **継続** 【予算額 9,120千円】

乳児の育児をする世帯に商品券を発行し、利用できる店舗・商品の情報や店舗等の子育て応援情報を発信して育児生活を応援する。

子育て中の世帯が商店街を利用することで、商店街の子育てを応援する機運の醸成に繋げる。

・新生児1人当り50,000円分の『つれてってプリペイドカード』を発行。

○実績（R6は12月末現在）

	R4	R5	R6
交付件数	210 件	177 件	124 件

⑦ 地域子どもの未来応援事業 **継続** 【予算額 3,600千円】

子どもの健やかな成長を支援することを目的として、子どもに対する学習支援、生活支援・相談など子どもに関する課題解決のための事業を実施する団体に対して補助を行うことで、市民団体の子育て支援活動を増進し、子どもの成長と子育てを市民全体で応援する機運の醸成を図る。

○実績（R6は12月末現在までの交付決定額）

	R5	R6
申請団体数	3 団体	4 団体
申請金額	3,123千円	3,618千円

⑧ 子育て参画促進事業 **継続** 【予算額 400千円】

男性も女性も子育てが楽しいと感じられる地域社会の形成を目的としたワークショップを開催し、地域の子育て環境の改善と地域力の向上を図る。また、従業員が家事・育児への参画ができる環境構築のため、企業・事業所が行う従業員の育児支援をサポートする。

○若い従業員向けのワークショップ、企業・事業所向けセミナーの開催。

⑨ 出産・子育て応援交付金事業（応援ギフト分） **継続** 【予算額 18,072千円】

国の出産・子育て応援交付金を活用し、子ども課で実施する伴走型相談支援に合わせ出産応援ギフト及び子育て応援ギフトを交付する。

★出産応援ギフト：妊娠届出時面談後 交付額50,000円（口座振替による）

★子育て応援ギフト：全戸訪問面談後 交付額50,000円（口座振替による）

○実績（R6は12月末現在）

	R5	R6
出産応援交付金	307 件	117 件
子育て応援交付金	205 件	117 件

⑩ 屋内キッズスペース整備事業 **内容変更** 【予算額 1,000千円】

休日も開放されていて天候に左右されず雨の日も小さい子どもが安心して遊べる屋内のフリースペースの整備をすることにより、子育て中の親同士の交流を生み、子育ての悩みを解消し幼児期の健やかな成長を促進する。

⑪ 小学校通学カバン贈呈事業
(子ども課所管 再掲)

継続

【予算額 3,890千円】

小学校入学時に通学カバンを贈る。駒ヶ根市の特徴を表現した通学カバンとすることで、子どもたちの心にふるさとを留めるきっかけの一つになることを期待する。

⑫ 物価高騰対策マイホーム取得支援事業
(商工観光課所管 再掲)

継続

【予算額 20,000千円】

子育て世代の市内への定住を促進し、定住人口の増加及び地域の活性化を図るとともに、物価高騰対策としてマイホーム取得費用の一部を助成する。

- ・新築住宅で最大50万円
- ・中古住宅で最大40万円。

○申請実績 (R6は12月末現在)

	R4	R5	R6
世帯数	23 組	32 組	37 組
居住者数	72 人	102 人	122 人

⑬ 公園整備事業
(都市計画課所管)

継続

【予算額 1,300千円】

利用頻度の高い既存公園トイレの清掃を行い、乳幼児を連れた保護者が安心して利用できる公園環境整備を行う。

⑭ 子育て支援センターきっずらんど土曜日開館
(子ども課所管 再掲)

継続

【予算額 1,290千円】

アンケート等で要望の多い子育て支援センターの休日開館について、先ず試験的にきっずらんど土曜日開館を実施する。

⑮ ファミリーサポート事業等利用料助成事業
(子ども課所管 再掲)

拡充

【予算額 2,188千円】

- ・ファミリーサポートセンター助成〔利用会員：300円/h、協力会員：450円/h〕
- ・ハッピーママサポート初回無料
- ・子育て支援短期入所初回無料

⑯ 子育て応援アプリ活用促進事業
(子ども課所管 再掲)

継続

【予算額 367千円】

子育て世帯が必要な情報を必要な時に得られ、また市などからの情報を必要な時に必要な人に届けられる情報伝達の仕組みを提供し、安心して子育てできる環境を構築することを目的に「こまっぷ by 母子モ」を継続運用する。

また、より個々に寄り添ったシステムとなるよう機能強化について検討する。

⑰ いい育児の日関連イベント開催事業
(子ども課所管 再掲)

継続

【予算額 1,211千円】

長野県や長野県将来世代応援県民会議と連携し、いい育児の日（家族の週間）に関連した親子が楽しめるイベントを開催する。

フリーマーケットを中心に親子で楽しめる「青空すくすく広場」は年2回実施する。その他、子育て支援センターを中心に、親子で楽しめるイベントを随時開催し、子育てを応援するとともに、子育てを応援する機運の醸成を図る。

(社会教育課所管 再掲)

公民館事業として、おやこ学級、親子ひろば、親子で楽しむ教室、親子リトミックを開催する。

⑱ 保育園等おむつ処分支援事業
(子ども課所管 再掲)

継続

【予算額 3,707千円】
(可燃ゴミ・古紙収集等運搬費)

使用済みおむつを、保育園・幼稚園で処分することで、保護者の負担軽減を図る。

⑱ ほほえみ支援事業(不妊に悩む方への支援) **継続** 【予算額 2,500千円】
(子ども課所管 再掲)

不妊に悩む夫婦の精神的、経済的負担を軽減するため、不妊治療に要する費用の一部を助成する。

- ・不妊治療費助成 補助対象経費の1/2以内 上限 20万円

⑳ 読書活動推進事業 **継続** 【予算額 1,355千円】
(社会教育課所管 再掲)

「子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの発達段階に即して読書推進に取り組む。

- ・ブックスタート(6ヶ月児)
- ・セカンドブック(2歳3ヶ月児)
- ・サードブック(小学校1年生)
- ・絵本巡回事業

㉑ 運動遊びの広場事業 **継続** 【予算額 350千円】
(社会教育課所管 再掲)

体育施設(アルプスドーム)のスポーツ団体の利用が少ない時間帯を活用し、天候に左右されず公園のように子どもが身体を動かして遊べる場とするとともに子育て世帯のコミュニケーションの場とする。定期的に支援センターが身体を使った遊びの場(あつまれこまっこ)を提供することで親子の交流を促進する。

プロジェクト
のポイント

地域住民や多様な主体が支え合い、生きがいを持って暮らせる社会の仕組みづくりを進めます。

○重層的支援体制整備事業

拡充

【予算額 176,730千円】

(福祉課、地域保健課、子ども課所管 再掲)

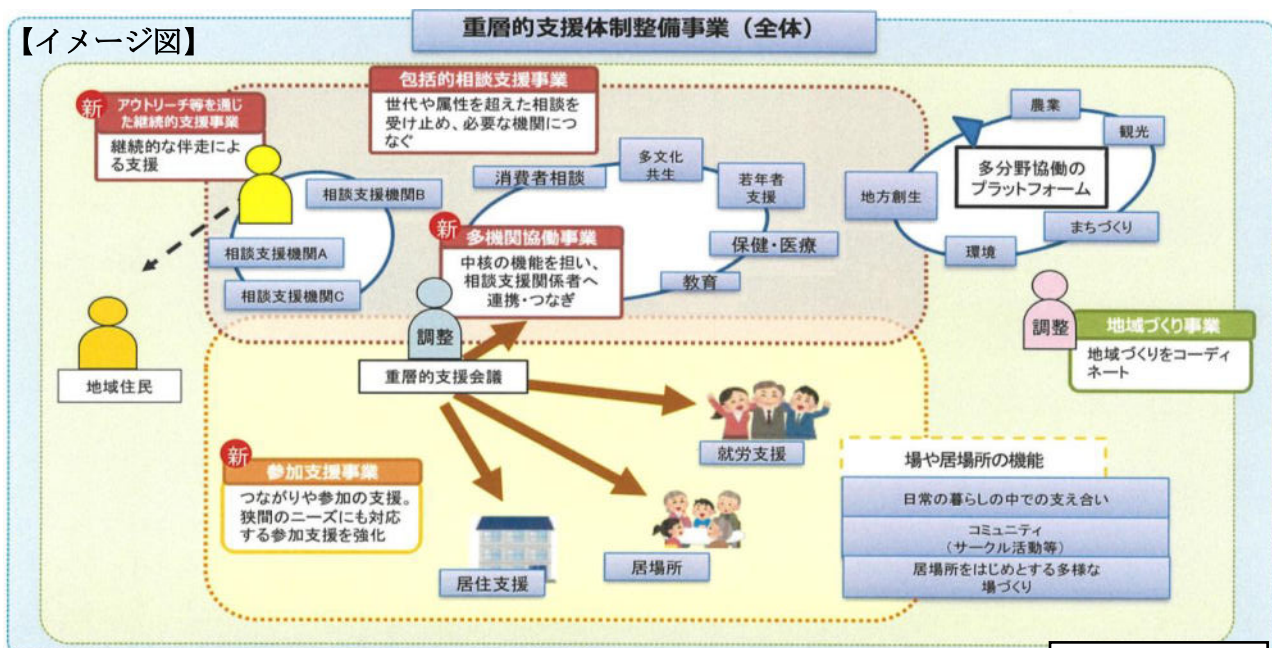
市民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築します。

相談者の属性、世代、相談内容に関わらず、「包括的に相談を受け止め」、受け止めた相談のうち、複雑化・複合化した事例については、「多機関協働事業」につなぎ、支援していきます。

長期にわたり引きこもりの状態にある人など、自ら支援につながる事が難しい人の場合は、「アウトリーチ等」を通じた継続的支援事業に取り組みます。

さらには、「参加支援」「支え合いの地域づくり」等の事業を進め、各部署や関係機関とが相互に連携しながら、本人に寄り添い、伴走的支援を行います。

【イメージ図】



厚生労働省資料

重層的支援体制整備事業総括表

単位：千円

款項目	分野	事業名	事業内容	所管課	事業費	備考
3・1・1	全体	重層的支援体制整備事業	アウトリーチを通じた継続的支援事業	福祉課	11,237	
			多機関協働事業		2,815	
			参加支援事業		7,870	
			地域づくり事業		363	
3・1・2	高齢	重層的支援体制整備事業（介護保険事業）	地域介護予防活動支援事業	福祉課	6,325	職員人件費含
			地域包括支援センター事業	地域保健課	58,645	
			生活支援体制整備事業（支え合いの地域づくり）		23,677	
			認知症総合支援推進事業		7,301	
3・1・2	障がい	地域生活支援事業	相談支援事業（基幹相談支援センター等機能強化事業＋住宅入居等支援事業）	福祉課	5,849	
		障がい者福祉施設管理	地域活動支援センター機能強化事業		3,000	
3・2・1	子ども	子育て支援センター事業	地域子育て支援拠点事業	子ども課	21,000	相談業務（職員人件費等）
		子育て家庭教育事業	利用者支援事業（こども家庭センター）		12,456	職員人件費含
		母子保健事業	利用者支援事業（こども家庭センター）		7,216	職員人件費含
		母子保健事業	利用者支援事業（妊婦包括相談支援事業）		1,156	
3・3・1	困窮	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立相談支援事業	福祉課	7,820	
計					176,730	

【総合戦略Ⅳ-(2)-①「駒ヶ根版生涯活躍のまち構想」の実現】

【総合戦略Ⅳ-(3)-② コンパクトシティの実現に向けた取組】

重点プロジェクト
3

生涯活躍のまちづくりを軸とした中心市街地(まちなか)再構築プロジェクト

R7.2
企画振興課

第5次総合計画に掲げる重点プロジェクト「生涯活躍のまちづくりを軸とした中心市街地(まちなか)再構築プロジェクト」に基づき、人が集う中心市街地をつくります。

地域再生計画におけるKPI(増加分)	R4	R5	R6
教育旅行及びワーケーション受入人数(人)	410/500	687/520	520/520
学びと交流プログラム参加者数(人)	245/100	464/100	1400/100
新たな活躍の場に関わる高齢者数(人)	0/0	15/10	10/10

駒ヶ根市版生涯活躍のまち構想 概要 (2019.8)

コンセプト：人生100年型多世代交流コミュニティの実現

このまちにきたい、住みたい、住み続けたいと思える人が増えるように、地域の魅力を高め、誰もが居場所と役割を持ち、つながりを持って支え合う地域づくりに取り組み、地域活力の確保や安心な暮らしの確保を目指す。

【基本方針】

- (1) 誰もが活躍できる地域共生社会(ごちゃまぜ)の実現
- (2) 持続可能な地域づくりに向け、地域特性を活かした取り組みを促進し、新たな人の流れをつくる
- (3) リニア開通を見据え、関係人口増に向け中心市街地の整備を進める



1 多世代・多文化交流の促進

【目標】 世代や国籍を超えて、障害を持った方、ケアが必要な方も、様々な人と人がつながりあう機会を増やすことで、地域共生の機能を高める。

○交流拠点整備 ○大使村構想推進

4 移住定住促進

【目標】 移住者向け住まいの整備や立地適正化計画の推進など、時代に合った住まいの整備が進められるよう関係機関との連携を強化する。

○信州駒ヶ根暮らし推進協議会連携 ○ゲストハウス ○お試し居住 ○住まい整備

2 新たな人の流れ(学びの場づくり)

【目標】 若い世代の流出に歯止めをかけると共に、青年海外協力隊や大都市圏の企業等と連携し、将来のライフスタイルの変化に合わせた環境作りを進め、関係人口を増加させる。

○ワーケーション推進 ○地域おこし協力隊活用 ○まちなか塾

5 健康増進

【目標】 日々の関わり合いによる健康増進に加え、住民が自ら予防的な活動を行う機会を増やしていくとともに、ケアが必要になった場合でも地域で暮らし続けられる環境を整備する。

○こまがね健康ステーション ○ウェルネス ○多世代交流 ○活躍の場(居場所)づくり

3 活躍の場づくり

【目標】 就労、ボランティア、生涯学習といった積極的な機会に加え、関わり合いや支え合いのなかで役割や生きがいを感じられる機会を増やす。

○交流拠点活用 ○多様な雇用創出 ○市民団体交流促進

6 地域の魅力を高める

【目標】 中心市街地を核に、アルプスの映えるまちとして、市外の人はもちろん、駒ヶ根で暮らす人が地域を楽しみ、誇りを持てるまちづくりをすすめる。

○こまがねテラス連携 ○大使村構想推進 ○まちなか塾

【生涯活躍のまち推進事業】

【予算額(計) 22,230千円】

駒ヶ根市生涯活躍のまち事業計画(R3.3策定)に基づき、地域再生推進法人であるJOCAと共に、「交流・居場所」「学びと交流の場づくり」「健康増進」を軸にごちゃまぜのまちづくりを進めます。

① 生涯活躍のまち推進協議会等事務

継続 (予算額 361千円)

生涯活躍のまち推進協議会を開催し、事業計画の進捗管理及び評価検証を行います。

② 生涯活躍のまち推進事業

継続 (予算額 8,320千円)

- 1) 教育旅行・企業研修により新しい人の流れをつくります。
- 2) 「学びと交流の場」による新しい人の流れをつくります。
- 3) 地域共生拠点を活用して高齢者の活躍の場をつくります。

③ 地域おこし協力隊活用事業

拡充 (予算額 11,999千円)

地域密着型の学びと交流の場づくりのプログラムのコーディネートや、関係人口増に向けた事業をJOCAや関係団体と共に地域のひとと人を繋げる役割を担います。

④ 駒ヶ根大使村プロジェクト・駒ヶ根フォーラム

拡充 (予算額 1,000千円)

開発途上国の大使の招聘や、多様な有識者や実践者とともに議論するなどの「学びと交流の場」をつくります。

⑤ JICA青年海外協力隊第2のふるさと創生事業

新規 (予算額 550千円)

隊員OBが駒ヶ根を訪れる機会を創出することで、関係人口の増加を目指します。

【居住誘導区域定住促進事業】(企画振興課所管) **継続** 【予算額 1,076千円】
立地適正化計画に基づく居住誘導区域内への住宅取得者への補助制度(3年間)

【こまがね健康ステーション】(地域保健課所管 施策2-1-1 再掲) **継続** 【予算額 10,866千円】
活動量計を使った健康づくり事業(一般会計273千円、介護特会10,593千円)

【商店街活性化事業】(商工観光課所管 施策4-2-1 再掲) **継続** 【予算額 2,288千円】

【市街地再生推進事業】(商工観光課所管 施策4-2-2 再掲) **継続** 【予算額 3,412千円】

【優良建築物等整備事業】(都市計画課所管 施策4-2-2 再掲) **継続** 【予算額 75,200千円】

【私立保育所運営・補助事業】(子ども課所管 施策1-1-3 再掲) **継続** 【予算額 51,267千円】
令和6年度に銀座通りで開所したJ's保育園駒ヶ根(JOCA運営)へ、制度に基づき支援します。

【総合戦略Ⅳ-(2)-⑤ 竜東振興プロジェクトの推進】

重点プロジェクト 4	竜東振興プロジェクト	R7.2 農林課
プロジェクト のポイント	竜東地域(新宮川岸地区)に農業振興を踏まえた新たな交流拠点を整備し、高原や市街地とつながることで市全体の発展につなげます。	

【竜東振興土地改良基盤整備事業】(施策4-1-1 再掲) **継続** 【予算額 156,500千円】

【農業次世代人材育成事業】(施策4-1-2 再掲) **継続** 【予算額 15,150千円】

【6次産業化の推進】(施策4-1-2 再掲) **継続** 【予算額 1,000千円】

【竜東振興拠点施設整備事業】(施策4-1-2 再掲) **拡充** 【予算額 26,639千円】

【シルクミュージアム運営事業】(施策4-1-2 再掲) **拡充** 【予算額 46,565千円】
糸平フェスティバル事業(300千円)含む

【駒ヶ根ふるさとの家運営事業】(施策4-1-2 再掲) **継続** 【予算額 10,776千円】

【スマート農業推進事業】(施策4-1-3 再掲) **拡充** 【予算額 6,000千円】

【総合戦略Ⅰ-(3)-① 地域資源を活かした魅力ある観光地域づくり】

重点プロジェクト 5	地域資源を活かした観光地域づくりプロジェクト	R7.2 商工観光課外
プロジェクト のポイント	観光資源のブラッシュアップや各観光施設を結ぶ新たな交通システムの整備などにより、時代の流れに沿った観光地域づくりに取り組み、駒ヶ根ファンづくりを進めます。	

【山麓周遊バス実証実験】(企画振興課所管 施策5-2-4 再掲) **継続** 【予算額 3,000千円】

【自然環境整備支援事業(空木岳登山道等)】(施策3-1-1 再掲) **継続** 【予算額 5,500千円】
一部R6補正分含む

【信州山の日イベント補助】(施策3-1-1 再掲) **継続** 【予算額 500千円】

【駒ヶ根高原温泉開発㈱の支援等】(施策3-1-1 再掲) 5号源泉採掘に向けた取組への支援分(補助金)	拡充	【予算額 154,200千円】
【駒ヶ根ファームス周辺森林環境整備】	新規	【予算額 300千円】
【駒ヶ根高原グランドデザイン具現化事業】(施策3-1-1 再掲)	継続	【予算額 1,300千円】
【駒ヶ根高原中核観光拠点施設の基本調査】(施策3-1-1 再掲)	継続	【予算額 1,000千円】
【観光施設改修事業(こまくさの湯外)】(施策3-1-1 再掲)	継続	【予算額 33,360千円】
【早太郎温泉開湯30周年記念事業補助】(施策3-1-2 再掲)	新規	【予算額 800千円】
【駒ヶ根高原イベント事業】(施策3-1-2 再掲)	継続	【予算額 1,000千円】
【観光高付加価値創造事業】(施策3-1-2 再掲)	継続	【予算額 1,900千円】
【台中市訪問事業】(施策3-1-2 再掲)	新規	【予算額 3,680千円】

【総合戦略Ⅳ-(3)-③ カーボンニュートラルな社会の実現に向けた取組】

重点プロジェクト 6	カーボンニュートラル推進プロジェクト	R7.2 生活環境課外
プロジェクト のポイント	温室効果ガスの排出により地球温暖化が進行し、気候変動など深刻化する環境問題に発展している。カーボンニュートラルな社会実現に向け、様々な施策に取り組みます。	

【えがおポイントエコ事業】(施策5-1-1 再掲)	拡充	【予算額 1,230千円】
【保健センターへの太陽光発電設備導入等】(施策5-1-1 再掲) 太陽光発電設備の設置、キュービクルの交換工事を実施します。	新規	【予算額 47,790千円】
【庁舎等照明LED化事業 本庁舎・支所】(総務課所管) 脱炭素の取り組みとして公共施設等の照明LED化を計画的に進めます。(3年目/3年間) (内訳) 庁舎24,700千円、中沢支所4,650千円、東伊那支所1,276千円	継続	【予算額 30,626千円】
【公用車のEV化推進】(総務課所管) 電気自動車(公用車)のリース及び充電電源設置工事	新規	【予算額 1,040千円】
【森林の里親促進事業】(農林課所管 施策4-1-4 再掲)	継続	【予算額 483千円】
【市単交通安全施設整備事業】(建設課所管) 脱炭素の取り組みとして道路照明のLED化を計画的に進めます。	継続	【予算額 5,000千円】
【社会体育施設整備(照明LED化)】(社会教育課所管) 脱炭素の取り組みとして体育施設等の照明LED化を計画的に進めます。 (内訳) 農村交流広場70,500千円、馬住ヶ原運動場42,000千円	新規・拡充	【予算額 112,500千円】
【子ども交流センター照明LED化】(子ども課所管) 脱炭素の取り組みとして公共施設等の照明LED化を計画的に進めます。	新規	【予算額 5,600千円】

【総合戦略Ⅲ-(1)-① 結婚、出産から子育てまで切れ目のない支援の充実】

重点プロジェクト 1	少子化対策・子育て支援	R7.2 企画振興課外
---------------	-------------	----------------

結婚から出産、子育てまで切れ目のない支援に取り組み、地域と連携して出会い・結婚・子育てを地域でサポートする環境を構築し、総合的な少子化対策を推進します。

	推移									目標
	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R10
出生数(人)	256	268	233	239	234	200	203	198	182	170

※目標R10は、第3期総合戦略の目標値

7年度の ポイント	出会い・結婚支援、出産・子育て支援、女性・若い世代の定住・就労支援、子育て環境の充実。
--------------	---

① 結婚相談所運営事業

【継続】 【予算額 8,076千円】

えがお出会いサポートセンター「駒ヶ根市結婚相談所」において、結婚相談員による相談事業、出会い支援事業を積極的に実施して、総合的な結婚支援を継続的に行う。加えて成婚した登録者の結婚生活におけるサポートを行う。

② えがお出会いサポート事業

【継続】 【予算額 1,075千円】

出会い支援イベントや、スキルアップセミナーを開催するとともに、結婚相談・お見合い対応等の支援事業を合わせた継続的な結婚支援を行う。また、広域連携による結婚支援や、移住婚希望者の受入れを行い、より効果的な出会いの機会の創出を図る。

○実績 (R6は12月末現在)

		R2	R3	R4	R5	R6
相談所登録者数	男性	92 人	99 人	113 人	119 人	122 人
	女性	55 人	60 人	86 人	87 人	90 人
相談件数		2,470 件	2,840 件	2,878 件	3,010 件	2,554 件
出会いイベント等	回数	21 回	16 回	30 回	21 回	12 回
	延べ参加者数	178 人	113 人	177 人	214 人	164 人
見合い件数		118 回	87 回	110 回	96 回	81 回
成婚数		11 組	10 組	10 組	14 組	4 組

③ 地域定着奨学生支援事業

【拡充】 【予算額 2,400千円】

駒ヶ根市へのふるさと回帰を促進することにより人口の増加を図ることを目的に、駒ヶ根市への移住・定住を促進し、若者の地域定着を促すため、奨学金の返済義務を抱えながら働く若者の負担軽減を図る。

○実績

	R2	R3	R4	R5	R6
補助件数	4 件	7 件	15 件	15 件	14 件

④ こまがね de 新婚生活スタート応援事業

【継続】 【予算額 6,500千円】

新婚生活をスタートさせるために必要な住居確保に係る経費を支援することで結婚を後押しし少子化対策に繋げていく。

- ・39歳以下で、前年度の世帯の所得が500万円以下の世帯対象
夫婦共に29歳以下 上限60万円+10万円（生活家電）
上記以外 上限30万円+5万円（生活家電）

○実績 (R6は12月末現在)

	R5	R6
申請件数	14 件	10 件

※今後の申請見込 5件

⑤ 妊婦さん・産後ママ応援タクシー券事業 **継続** 【予算額 682千円】

出産前後の母親が検診や買い物などで外出したい時や、緊急時に家族等の支援が得られない場合のセーフティネットとして、また、都市部から移住された女性の不安軽減を目的に、出産前後の母親が利用できるタクシー券（500円）をエリアごとの枚数で交付する。

・竜西地区：24枚 ・竜東地区1：48枚 ・竜東地区2：72枚

○実績（R6は12月末現在）

	R5	R6
交付者数	96 人	53 人
実利用者数	69 人	

⑥ 赤ちゃん育児ライフ応援事業 **継続** 【予算額 9,120千円】

乳児の育児をする世帯に商品券を発行し、利用できる店舗・商品の情報や店舗等の子育て応援情報を発信して育児生活を応援する。

子育て中の世帯が商店街を利用することで、商店街の子育てを応援する機運の醸成に繋げる。

・新生児1人当り50,000円分の『つれてってプリペイドカード』を発行。

○実績（R6は12月末現在）

	R4	R5	R6
交付件数	210 件	177 件	124 件

⑦ 地域子どもの未来応援事業 **継続** 【予算額 3,600千円】

子どもの健やかな成長を支援することを目的として、子どもに対する学習支援、生活支援・相談など子どもに関する課題解決のための事業を実施する団体に対して補助を行うことで、市民団体の子育て支援活動を増進し、子どもの成長と子育てを市民全体で応援する機運の醸成を図る。

○実績（R6は12月末現在までの交付決定額）

	R5	R6
申請団体数	3 団体	4 団体
申請金額	3,123千円	3,618千円

⑧ 子育て参画促進事業 **継続** 【予算額 400千円】

男性も女性も子育てが楽しいと感じられる地域社会の形成を目的としたワークショップを開催し、地域の子育て環境の改善と地域力の向上を図る。また、従業員が家事・育児への参画ができる環境構築のため、企業・事業所が行う従業員の育児支援をサポートする。

○若い従業員向けのワークショップ、企業・事業所向けセミナーの開催。

⑨ 出産・子育て応援交付金事業（応援ギフト分） **継続** 【予算額 18,072千円】

国の出産・子育て応援交付金を活用し、子ども課で実施する伴走型相談支援に合わせ出産応援ギフト及び子育て応援ギフトを交付する。

★出産応援ギフト：妊娠届出時面談後 交付額50,000円（口座振替による）

★子育て応援ギフト：全戸訪問面談後 交付額50,000円（口座振替による）

○実績（R6は12月末現在）

	R5	R6
出産応援交付金	307 件	117 件
子育て応援交付金	205 件	117 件

⑩ 屋内キッズスペース整備事業 **内容変更** 【予算額 1,000千円】

休日も開放されていて天候に左右されず雨の日も小さい子どもが安心して遊べる屋内のフリースペースの整備をすることにより、子育て中の親同士の交流を生み、子育ての悩みを解消し幼児期の健やかな成長を促進する。

⑪ 小学校通学カバン贈呈事業
(子ども課所管 再掲)

継続

【予算額 3,890千円】

小学校入学時に通学カバンを贈る。駒ヶ根市の特徴を表現した通学カバンとすることで、子どもたちの心にふるさとを留めるきっかけの一つになることを期待する。

⑫ 物価高騰対策マイホーム取得支援事業
(商工観光課所管 再掲)

継続

【予算額 20,000千円】

子育て世代の市内への定住を促進し、定住人口の増加及び地域の活性化を図るとともに、物価高騰対策としてマイホーム取得費用の一部を助成する。

- ・新築住宅で最大50万円
- ・中古住宅で最大40万円。

○申請実績 (R6は12月末現在)

	R4	R5	R6
世帯数	23 組	32 組	37 組
居住者数	72 人	102 人	122 人

⑬ 公園整備事業
(都市計画課所管)

継続

【予算額 1,300千円】

利用頻度の高い既存公園トイレの清掃を行い、乳幼児を連れた保護者が安心して利用できる公園環境整備を行う。

⑭ 子育て支援センターきっずらんど土曜日開館
(子ども課所管 再掲)

継続

【予算額 1,290千円】

アンケート等で要望の多い子育て支援センターの休日開館について、先ず試験的にきっずらんどの土曜日開館を実施する。

⑮ ファミリーサポート事業等利用料助成事業
(子ども課所管 再掲)

拡充

【予算額 2,188千円】

- ・ファミリーサポートセンター助成〔利用会員：300円/h、協力会員：450円/h〕
- ・ハッピーママサポート初回無料
- ・子育て支援短期入所初回無料

⑯ 子育て応援アプリ活用促進事業
(子ども課所管 再掲)

継続

【予算額 367千円】

子育て世帯が必要な情報を必要な時に得られ、また市などからの情報を必要な時に必要な人に届けられる情報伝達の仕組みを提供し、安心して子育てできる環境を構築することを目的に「こまっぷ by 母子モ」を継続運用する。

また、より個々に寄り添ったシステムとなるよう機能強化について検討する。

⑰ いい育児の日関連イベント開催事業
(子ども課所管 再掲)

継続

【予算額 1,211千円】

長野県や長野県将来世代応援県民会議と連携し、いい育児の日（家族の週間）に関連した親子が楽しめるイベントを開催する。

フリーマーケットを中心に親子で楽しめる「青空すくすく広場」は年2回実施する。その他、子育て支援センターを中心に、親子で楽しめるイベントを随時開催し、子育てを応援するとともに、子育てを応援する機運の醸成を図る。

(社会教育課所管 再掲)

公民館事業として、おやこ学級、親子ひろば、親子で楽しむ教室、親子リトミックを開催する。

⑱ 保育園等おむつ処分支援事業
(子ども課所管 再掲)

継続

【予算額 3,707千円】
(可燃ゴミ・古紙収集等運搬費)

使用済みおむつを、保育園・幼稚園で処分することで、保護者の負担軽減を図る。

⑱ ほほえみ支援事業(不妊に悩む方への支援) **継続** 【予算額 2,500千円】
(子ども課所管 再掲)

不妊に悩む夫婦の精神的、経済的負担を軽減するため、不妊治療に要する費用の一部を助成する。

- ・不妊治療費助成 補助対象経費の1/2以内 上限 20万円

⑳ 読書活動推進事業 **継続** 【予算額 1,355千円】
(社会教育課所管 再掲)

「子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの発達段階に即して読書推進に取り組む。

- ・ブックスタート(6ヶ月児)
- ・セカンドブック(2歳3ヶ月児)
- ・サードブック(小学校1年生)
- ・絵本巡回事業

㉑ 運動遊びの広場事業 **継続** 【予算額 350千円】
(社会教育課所管 再掲)

体育施設(アルプスドーム)のスポーツ団体の利用が少ない時間帯を活用し、天候に左右されず公園のように子どもが身体を動かして遊べる場とするとともに子育て世帯のコミュニケーションの場とする。定期的に支援センターが身体を使った遊びの場(あつまれこまっこ)を提供することで親子の交流を促進する。

○重層的支援体制整備事業

拡充

【予算額 176,730千円】

(福祉課、地域保健課、子ども課所管 再掲)

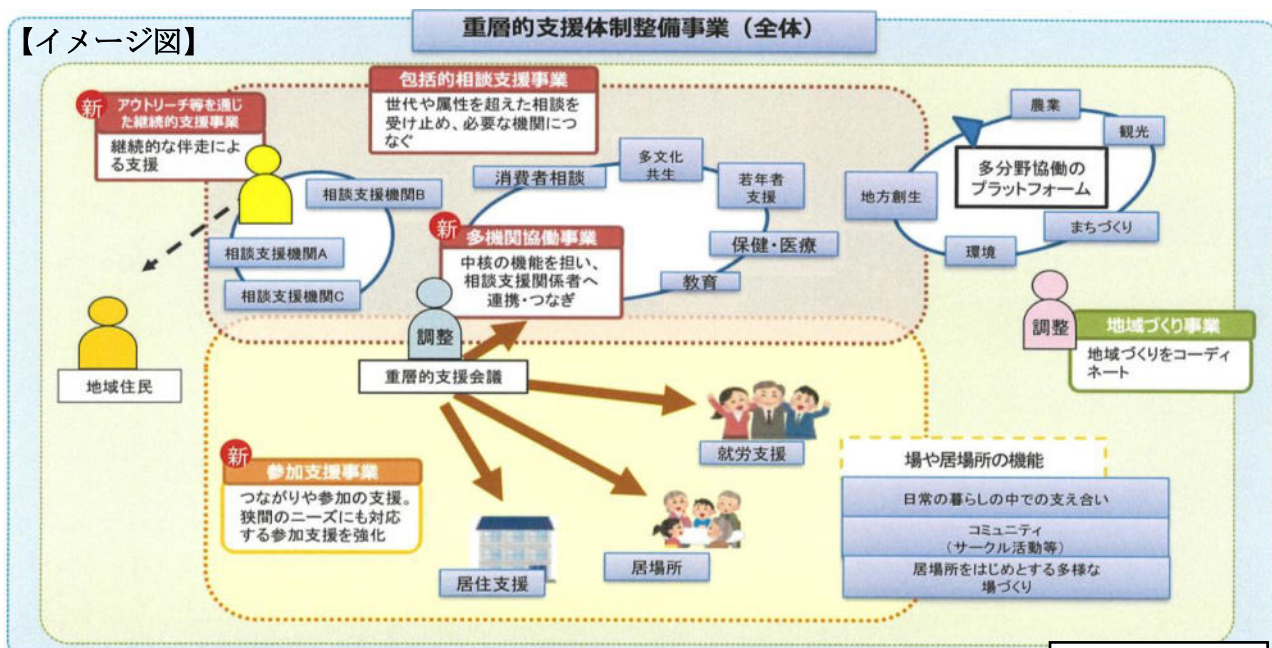
市民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築します。

相談者の属性、世代、相談内容に関わらず、「包括的に相談を受け止め」、受け止めた相談のうち、複雑化・複合化した事例については、「多機関協働事業」につなぎ、支援していきます。

長期にわたり引きこもりの状態にある人など、自ら支援につながる事が難しい人の場合は、「アウトリーチ等」を通じた継続的支援事業に取り組みます。

さらには、「参加支援」「支え合いの地域づくり」等の事業を進め、各部署や関係機関とが相互に連携しながら、本人に寄り添い、伴走的支援を行います。

【イメージ図】



厚生労働省資料

重層的支援体制整備事業総括表

単位：千円

款項目	分野	事業名	事業内容	所管課	事業費	備考
3・1・1	全体	重層的支援体制整備事業	アウトリーチを通じた継続的支援事業	福祉課	11,237	
			多機関協働事業		2,815	
			参加支援事業		7,870	
			地域づくり事業		363	
3・1・1	高齢	重層的支援体制整備事業（介護保険事業）	地域介護予防活動支援事業	福祉課	6,325	職員人件費含
			地域包括支援センター事業	地域保健課	58,645	
			生活支援体制整備事業（支え合いの地域づくり）		23,677	
			認知症総合支援推進事業		7,301	
3・1・2	障がい	地域生活支援事業	相談支援事業（基幹相談支援センター等機能強化事業＋住宅入居等支援事業）	福祉課	5,849	
		障がい者福祉施設管理	地域活動支援センター機能強化事業		3,000	
3・2・1	子ども	子育て支援センター事業	地域子育て支援拠点事業	子ども課	21,000	相談業務（職員人件費等）
		子育て家庭教育事業	利用者支援事業（こども家庭センター）		12,456	職員人件費含
		母子保健事業	利用者支援事業（こども家庭センター）		7,216	職員人件費含
		母子保健事業	利用者支援事業（妊婦包括相談支援事業）		1,156	
3・3・1	困窮	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立相談支援事業	福祉課	7,820	
計					176,730	

【総合戦略Ⅳ-(2)-①「駒ヶ根版生涯活躍のまち構想」の実現】

【総合戦略Ⅳ-(3)-② コンパクトシティの実現に向けた取組】

重点プロジェクト
3

生涯活躍のまちづくりを軸とした中心市街地(まちなか)再構築プロジェクト

R7.2
企画振興課

第5次総合計画に掲げる重点プロジェクト「生涯活躍のまちづくりを軸とした中心市街地(まちなか)再構築プロジェクト」に基づき、人が集う中心市街地をつくります。

地域再生計画におけるKPI(増加分)	R4	R5	R6
教育旅行及びワーケーション受入人数(人)	410/500	687/520	520/520
学びと交流プログラム参加者数(人)	245/100	464/100	1400/100
新たな活躍の場に関わる高齢者数(人)	0/0	15/10	10/10

駒ヶ根市版生涯活躍のまち構想 概要 (2019.8)

コンセプト：人生100年型多世代交流コミュニティの実現

このまちにきたい、住みたい、住み続けたいと思える人が増えるように、地域の魅力を高め、誰もが居場所と役割を持ち、つながりを持って支え合う地域づくりに取り組み、地域活力の確保や安心な暮らしの確保を目指す。

【基本方針】

- (1) 誰もが活躍できる地域共生社会(ごちゃまぜ)の実現
- (2) 持続可能な地域づくりに向け、地域特性を活かした取り組みを促進し、新たな人の流れをつくる
- (3) リニア開通を見据え、関係人口増に向け中心市街地の整備を進める



1 多世代・多文化交流の促進

【目標】 世代や国籍を超えて、障害を持った方、ケアが必要な方も、様々な人と人がつながりあう機会を増やすことで、地域共生の機能を高める。

○交流拠点整備 ○大使村構想推進

4 移住定住促進

【目標】 移住者向け住まいの整備や立地適正化計画の推進など、時代に合った住まいの整備が進められるよう関係機関との連携を強化する。

○信州駒ヶ根暮らし推進協議会連携 ○ゲストハウス ○お試し居住 ○住まい整備

2 新たな人の流れ(学びの場づくり)

【目標】 若い世代の流出に歯止めをかけると共に、青年海外協力隊や大都市圏の企業等と連携し、将来のライフスタイルの変化に合わせた環境作りを進め、関係人口を増加させる。

○ワーケーション推進 ○地域おこし協力隊活用 ○まちなか塾

5 健康増進

【目標】 日々の関わり合いによる健康増進に加え、住民が自ら予防的な活動を行う機会を増やしていくとともに、ケアが必要になった場合でも地域で暮らし続けられる環境を整備する。

○こまがね健康ステーション ○ウェルネス ○多世代交流 ○活躍の場(居場所)づくり

3 活躍の場づくり

【目標】 就労、ボランティア、生涯学習といった積極的な機会に加え、関わり合いや支え合いのなかで役割や生きがいを感じられる機会を増やす。

○交流拠点活用 ○多様な雇用創出 ○市民団体交流促進

6 地域の魅力を高める

【目標】 中心市街地を核に、アルプスの映えるまちとして、市外の人はもちろん、駒ヶ根で暮らす人が地域を楽しみ、誇りを持てるまちづくりをすすめる。

○こまがねテラス連携 ○大使村構想推進 ○まちなか塾

【生涯活躍のまち推進事業】

【予算額(計) 22,230千円】

駒ヶ根市生涯活躍のまち事業計画(R3.3策定)に基づき、地域再生推進法人であるJOCAと共に、「交流・居場所」「学びと交流の場づくり」「健康増進」を軸にごちゃまぜのまちづくりを進めます。

① 生涯活躍のまち推進協議会等事務

継続

(予算額 361千円)

生涯活躍のまち推進協議会を開催し、事業計画の進捗管理及び評価検証を行います。

② 生涯活躍のまち推進事業

継続

(予算額 8,320千円)

- 1) 教育旅行・企業研修により新しい人の流れをつくります。
- 2) 「学びと交流の場」による新しい人の流れをつくります。
- 3) 地域共生拠点を活用して高齢者の活躍の場をつくります。

③ 地域おこし協力隊活用事業

拡充

(予算額 11,999千円)

地域密着型の学びと交流の場づくりのプログラムのコーディネートや、関係人口増に向けた事業をJOCAや関係団体と共に地域のひとと人を繋げる役割を担います。

④ 駒ヶ根大使村プロジェクト・駒ヶ根フォーラム

拡充

(予算額 1,000千円)

開発途上国の大使の招聘や、多様な有識者や実践者とともに議論するなどの「学びと交流の場」をつくります。

⑤ JICA青年海外協力隊第2のふるさと創生事業

新規

(予算額 550千円)

隊員OBが駒ヶ根を訪れる機会を創出することで、関係人口の増加を目指します。

【居住誘導区域定住促進事業】(企画振興課所管) **継続** 【予算額 1,076千円】
立地適正化計画に基づく居住誘導区域内への住宅取得者への補助制度(3年間)

【こまがね健康ステーション】(地域保健課所管 施策2-1-1 再掲) **継続** 【予算額 10,866千円】
活動量計を使った健康づくり事業(一般会計273千円、介護特会10,593千円)

【商店街活性化事業】(商工観光課所管 施策4-2-1 再掲) **継続** 【予算額 2,288千円】

【市街地再生推進事業】(商工観光課所管 施策4-2-2 再掲) **継続** 【予算額 3,412千円】

【優良建築物等整備事業】(都市計画課所管 施策4-2-2 再掲) **継続** 【予算額 75,200千円】

【私立保育所運営・補助事業】(子ども課所管 施策1-1-3 再掲) **継続** 【予算額 51,267千円】
令和6年度に銀座通りで開所したJ's保育園駒ヶ根(JOCA運営)へ、制度に基づき支援します。

【総合戦略Ⅳ-(2)-⑤ 竜東振興プロジェクトの推進】

重点プロジェクト 4	竜東振興プロジェクト	R7.2 農林課
プロジェクト のポイント	竜東地域(新宮川岸地区)に農業振興を踏まえた新たな交流拠点を整備し、高原や市街地とつながることで市全体の発展につなげます。	

【竜東振興土地改良基盤整備事業】(施策4-1-1 再掲) **継続** 【予算額 156,500千円】

【農業次世代人材育成事業】(施策4-1-2 再掲) **継続** 【予算額 15,150千円】

【6次産業化の推進】(施策4-1-2 再掲) **継続** 【予算額 1,000千円】

【竜東振興拠点施設整備事業】(施策4-1-2 再掲) **拡充** 【予算額 26,639千円】

【シルクミュージアム運営事業】(施策4-1-2 再掲) **拡充** 【予算額 46,565千円】
糸平フェスティバル事業(300千円)含む

【駒ヶ根ふるさとの家運営事業】(施策4-1-2 再掲) **継続** 【予算額 10,776千円】

【スマート農業推進事業】(施策4-1-3 再掲) **拡充** 【予算額 6,000千円】

【総合戦略Ⅰ-(3)-① 地域資源を活かした魅力ある観光地域づくり】

重点プロジェクト 5	地域資源を活かした観光地域づくりプロジェクト	R7.2 商工観光課外
プロジェクト のポイント	観光資源のブラッシュアップや各観光施設を結ぶ新たな交通システムの整備などにより、時代の流れに沿った観光地域づくりに取り組み、駒ヶ根ファンづくりを進めます。	

【山麓周遊バス実証実験】(企画振興課所管 施策5-2-4 再掲) **継続** 【予算額 3,000千円】

【自然環境整備支援事業(空木岳登山道等)】(施策3-1-1 再掲) **継続** 【予算額 5,500千円】
一部R6補正分含む

【信州山の日イベント補助】(施策3-1-1 再掲) **継続** 【予算額 500千円】

【駒ヶ根高原温泉開発㈱の支援等】(施策3-1-1 再掲) 5号源泉採掘に向けた取組への支援分(補助金)	拡充	【予算額 154,200千円】
【駒ヶ根ファームス周辺森林環境整備】	新規	【予算額 300千円】
【駒ヶ根高原グランドデザイン具現化事業】(施策3-1-1 再掲)	継続	【予算額 1,300千円】
【駒ヶ根高原中核観光拠点施設の基本調査】(施策3-1-1 再掲)	継続	【予算額 1,000千円】
【観光施設改修事業(こまくさの湯外)】(施策3-1-1 再掲)	継続	【予算額 33,360千円】
【早太郎温泉開湯30周年記念事業補助】(施策3-1-2 再掲)	新規	【予算額 800千円】
【駒ヶ根高原イベント事業】(施策3-1-2 再掲)	継続	【予算額 1,000千円】
【観光高付加価値創造事業】(施策3-1-2 再掲)	継続	【予算額 1,900千円】
【台中市訪問事業】(施策3-1-2 再掲)	新規	【予算額 3,680千円】

【総合戦略Ⅳ-(3)-③ カーボンニュートラルな社会の実現に向けた取組】

重点プロジェクト 6	カーボンニュートラル推進プロジェクト	R7.2 生活環境課外
プロジェクト のポイント	温室効果ガスの排出により地球温暖化が進行し、気候変動など深刻化する環境問題に発展している。カーボンニュートラルな社会実現に向け、様々な施策に取り組みます。	

【えがおポイントエコ事業】(施策5-1-1 再掲)	拡充	【予算額 1,230千円】
【保健センターへの太陽光発電設備導入等】(施策5-1-1 再掲) 太陽光発電設備の設置、キュービクルの交換工事を実施します。	新規	【予算額 47,790千円】
【庁舎等照明LED化事業 本庁舎・支所】(総務課所管) 脱炭素の取り組みとして公共施設等の照明LED化を計画的に進めます。(3年目/3年間) (内訳) 庁舎24,700千円、中沢支所4,650千円、東伊那支所1,276千円	継続	【予算額 30,626千円】
【公用車のEV化推進】(総務課所管) 電気自動車(公用車)のリース及び充電電源設置工事	新規	【予算額 1,040千円】
【森林の里親促進事業】(農林課所管 施策4-1-4 再掲)	継続	【予算額 483千円】
【市単交通安全施設整備事業】(建設課所管) 脱炭素の取り組みとして道路照明のLED化を計画的に進めます。	継続	【予算額 5,000千円】
【社会体育施設整備(照明LED化)】(社会教育課所管) 脱炭素の取り組みとして体育施設等の照明LED化を計画的に進めます。 (内訳) 農村交流広場70,500千円、馬住ヶ原運動場42,000千円	新規・拡充	【予算額 112,500千円】
【子ども交流センター照明LED化】(子ども課所管) 脱炭素の取り組みとして公共施設等の照明LED化を計画的に進めます。	新規	【予算額 5,600千円】